

各協会(団体)及び関係各社 御中

京都タクシー業務センター

近鉄桃山御陵前駅のタクシー待機について

近鉄桃山御陵前駅のタクシー待機については、正規のりばでない旨も含め、度を越えた待機行為だけではなく**喫煙などの待機マナーに対しても注意喚起/現地指導を継続**しています。現在、同地では、**歩道拡幅/車線幅員縮小を主体とした道路整備に着手**しており、これにはのりばの新設や乱横断防止柵の設置も含まれています。その一方で、地域住民からはタクシーの**待機マナーの悪さから**風致低下を懸念し**のりばの新設を疑問視する声**も出ています。

こうした状況のなか、京都運輸支局・京都市道路環境整備課・伏見警察署・業務センターなどの関係者が集まり、同駅前の**タクシー待機の実態調査**の報告が行われました。9月に実施した調査では時間内に**延べ140台のタクシー**が確認され、約5割が法人タクシー、その9割近くを特定会社が占めることが報告されました。

報告を受け、関係者協議として当該会社に対して**違法待機解消に向けた運行管理/指導を行うよう申入**が行われていますが、残る半数を占める個人事業者やその他の法人各社に対しては、**随時、当センターによる直接啓発活動を行うとともに、度を越えた待機車両に対しては検挙を含めあらゆる対応**を検討しています。

ちなみに、伏見警察署には「**(待機車両の為)すれ違いができない・困難**」「**車両から離れ喫煙や談笑している**」「**ゴミのポイ捨て/喫煙**」「**(車庫前・自宅前)での駐停車**」など多くの苦情が寄せられており、対応も含めて現状を厳しく捉えている模様です。一般論として対応義務もあり、まずは**苦情が発生する素地を改善する必要**があるとの認識です。

自身の営業のためにも、**同地を使用する者同士で注意しあい、お客さまは もちろん、だれもが気持ちよく利用できるよう努めていただきたいと思います**
強く要望します。

以上